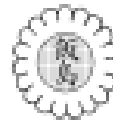


ひまわり 6月号 令和6年5月31日

横浜市立飯島小学校 生きるよろこび
学ぶ楽しさ
のびのび 飯島っ子



心を一つにするために

校長 河原 洋之

25日(土)のスポーツフェスティバルでは、子どもたちが真剣に演技や競技に取り組む姿を保護者や地域の皆様にご覧いただくことができ、大変嬉しく思っています。子どもたちへのご声援、ありがとうございました。また、地域交流室の皆様やPTA役員の皆様には校内のバトロール等、スポーツフェスティバルの運営にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

同点で両組優勝という結果には本当に驚きました。結果発表の時、どちらの組の子どもたちも喜んでいる光景が強く印象に残りました。わたしにとっても忘れられないスポーツフェスティバルになりそうです。

今年のスポーツフェスティバルのスローガンは『心を一つに 笑顔あふれる 飯島小』でした。これは子どもたちが考えたスローガンです。わたしも担任だったころは、クラスの一体感を求め、子どもたちに対して「心を一つにして頑張ろう！」などと語りかけることがありました。「心を一つにする」という言葉を安易に口に出してしまいがちですが、実現するのは簡単なことではありません。おそらく当時わたしが担任していた子どもたちの多くが「心を一つにしたい」という気持ちをもっていても具体的にどうしたらよいかわからなかったのではないかと、今になって思います。どうすれば心が一つになるのかを子どもたちと一緒に考え、そこに向かって学級や学年、学校全体で取り組み、「心が一つになった」と思える経験をさせることが大事だと改めて感じています。みんなで一つの目標を立て、その達成を目指して活動することが心を一つにする一番の近道だと考えます。

スポーツフェスティバルに向けて練習を重ねていく中で、「みんなで動きをそろえて踊る」や「団体競技で勝つ」など学年や学級、低中高ブロックで目標をもち、当日を迎えたと思います。そして、何よりも子どもたちの一番の目標は「今年は(も)優勝する！」だったに違いありません。そういう意味では全員が同じ目標を達成し、学校全体で心が一つになったスポーツフェスティバルだったと言えるのではないのでしょうか。

全校で取り組む大きな行事が一つ終わりましたが、まだ今年度は始まったばかりです。これからも様々な教育活動を行っていきます。それらの活動を通して、子どもたちには「心が一つになった」という思いをたくさん味わってほしいと思っています。